

セキュリティソフトにおけるデキスパートの除外設定

[ウイルスセキュリティ ZERO の場合]

※この資料は 2013/12/05 時点での最新バージョンのウイルスセキュリティ ZERO の画面を元に作成しております。

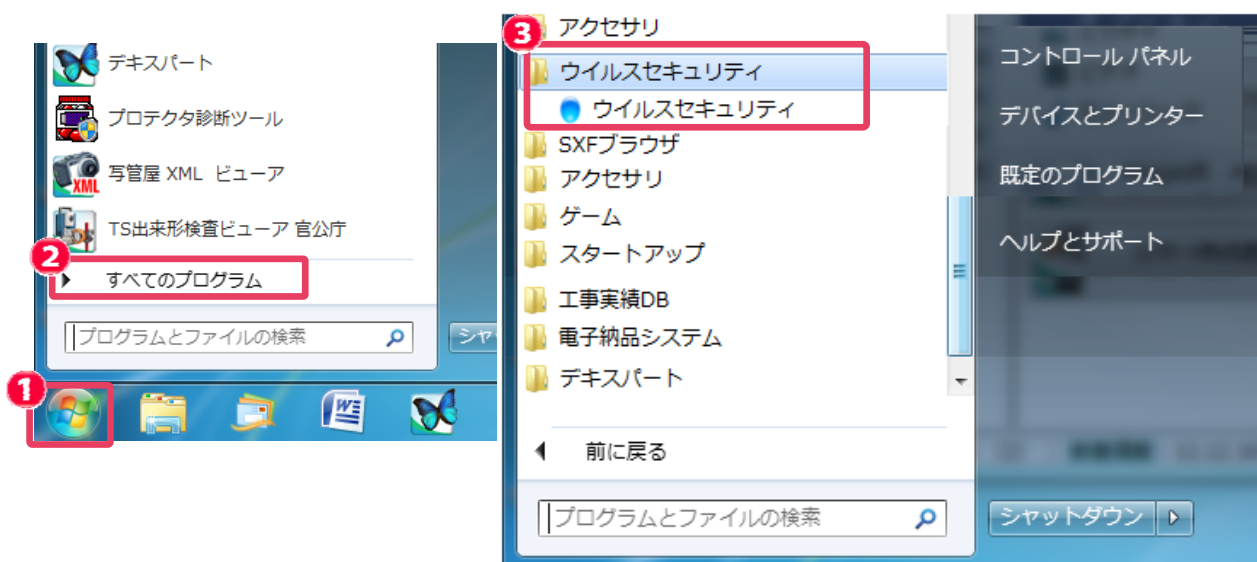
バージョンが異なる場合は、レイアウトやボタンの配置、操作方法が異なる可能性があります。

参考資料として捉えていただき、詳細な手順が不明な場合は、各セキュリティソフトメーカーへお問い合わせください。

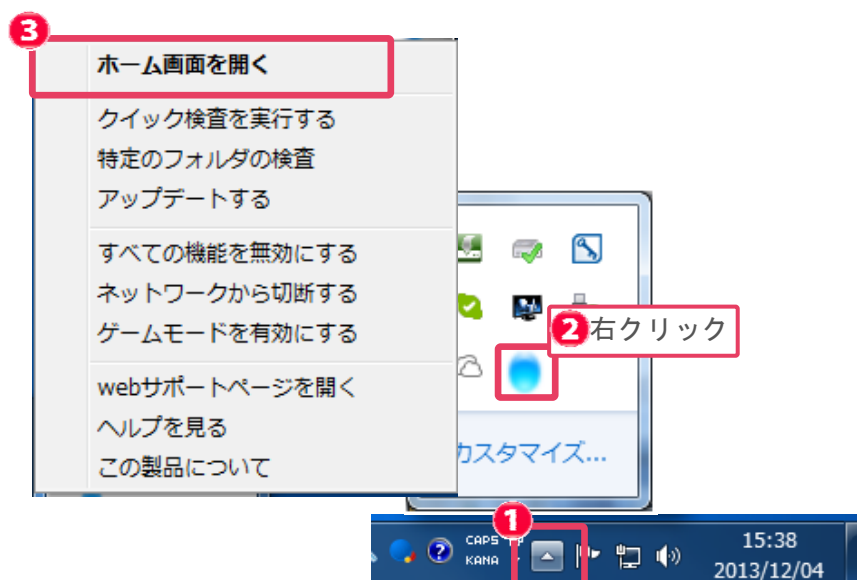
※本文中で登場するシステム名、製品名は、一般の各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

<トラブル対処> 「ウイルスセキュリティ ZERO」の除外設定について

1. スタートメニューから「すべてのプログラム」→ [ウイルスセキュリティ] - [ウイルスセキュリティ] を起動します。

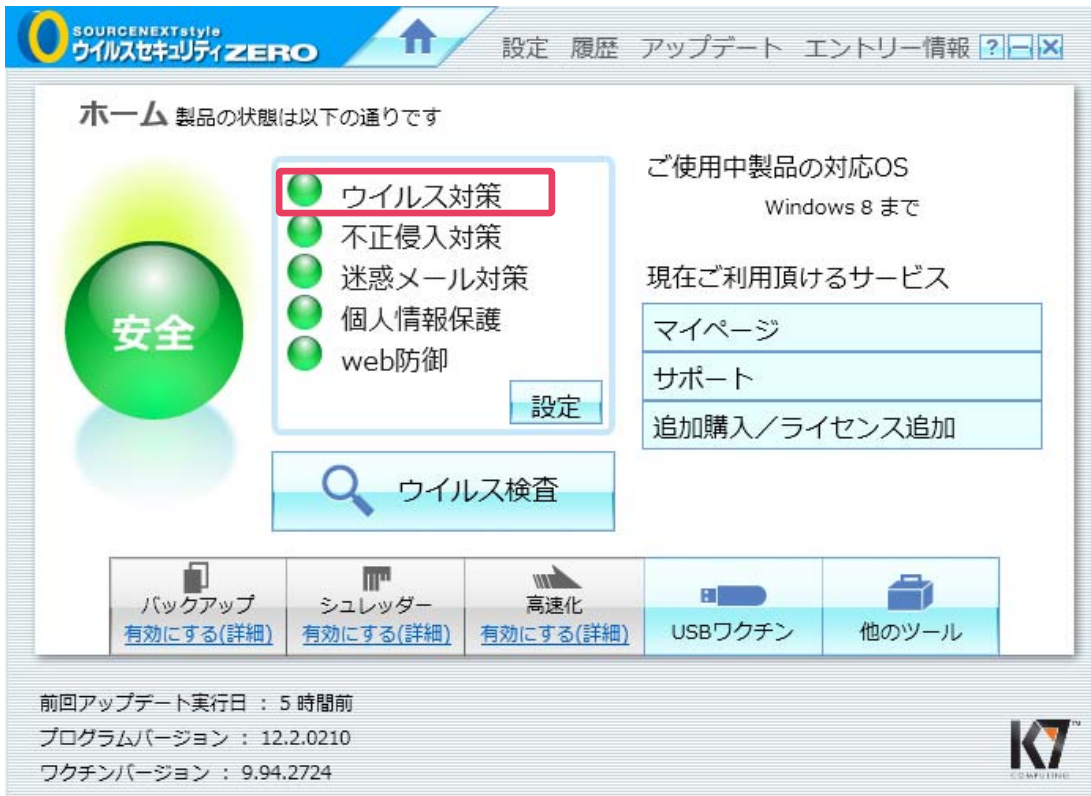


補足：デスクトップ画面右下のタスクトレイのアイコンー右クリックからも起動できます。

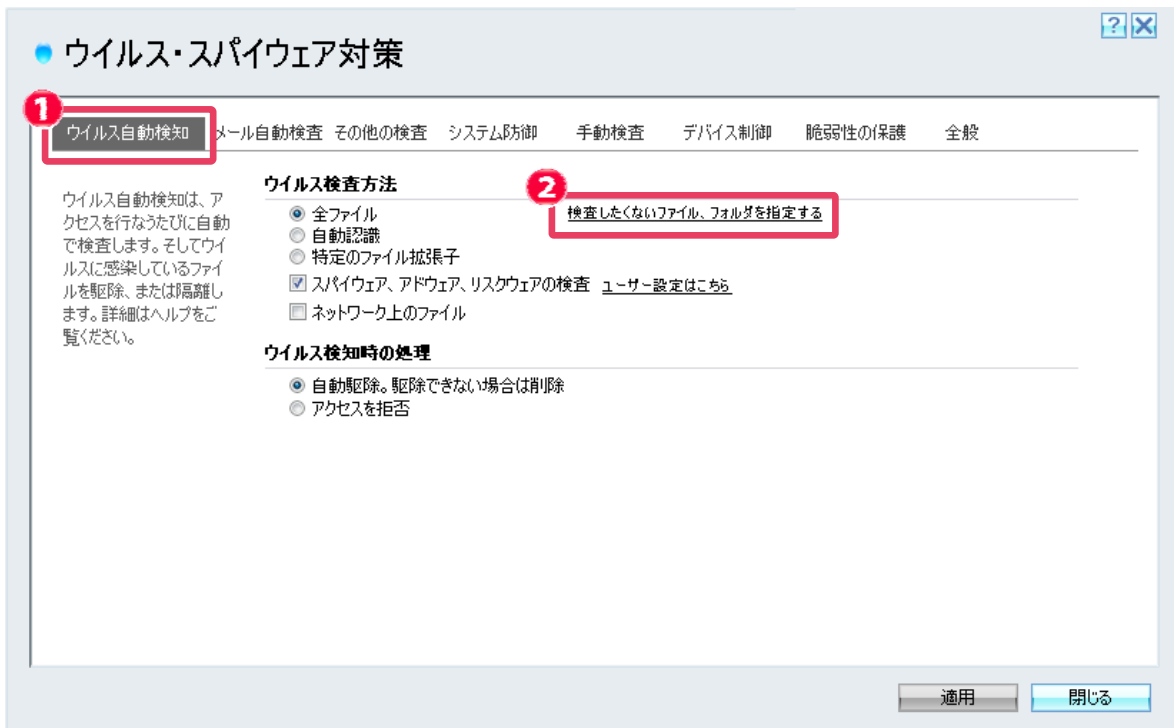


2. ウイルスセキュリティ ZERO のメイン画面が表示されます。

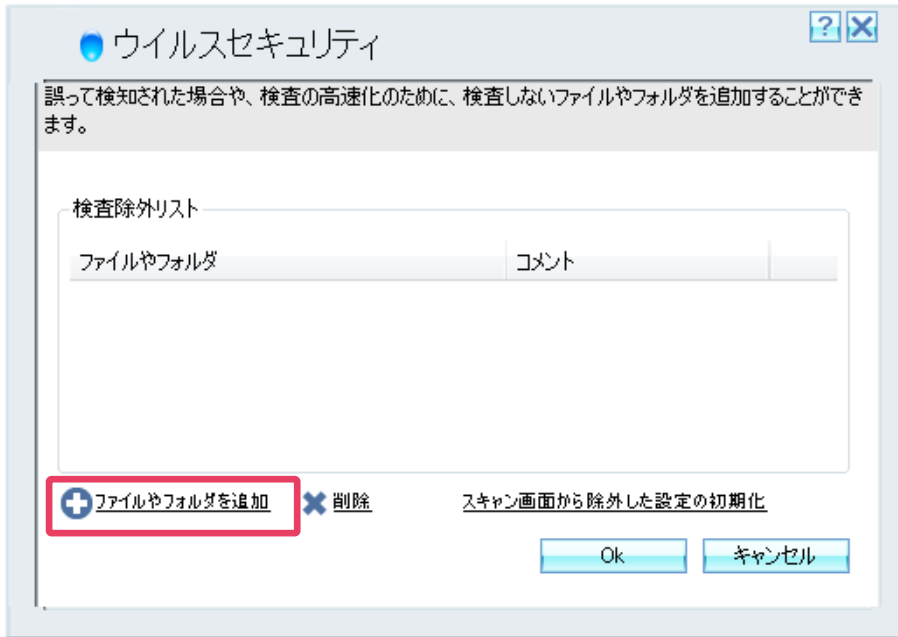
[ウイルス対策] をクリックします。



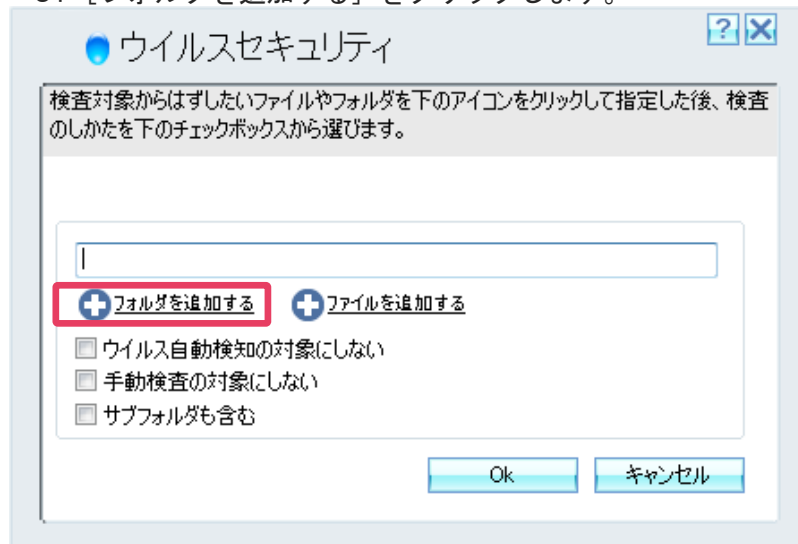
3. [ウイルス自動検知] → [検査したくないファイル、フォルダを指定する] をクリックします。



4. [ファイルやフォルダを追加] をクリックします。



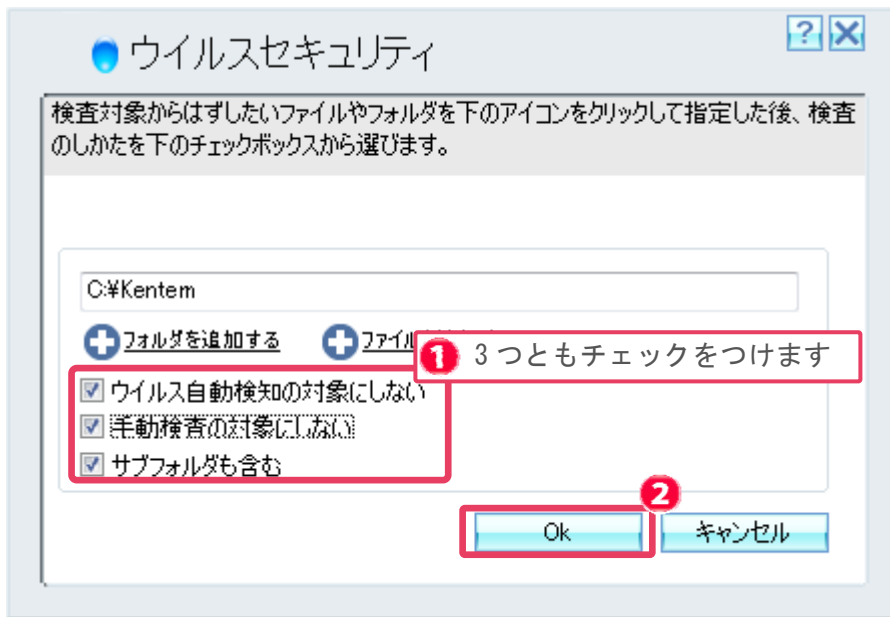
5. [フォルダを追加する] をクリックします。



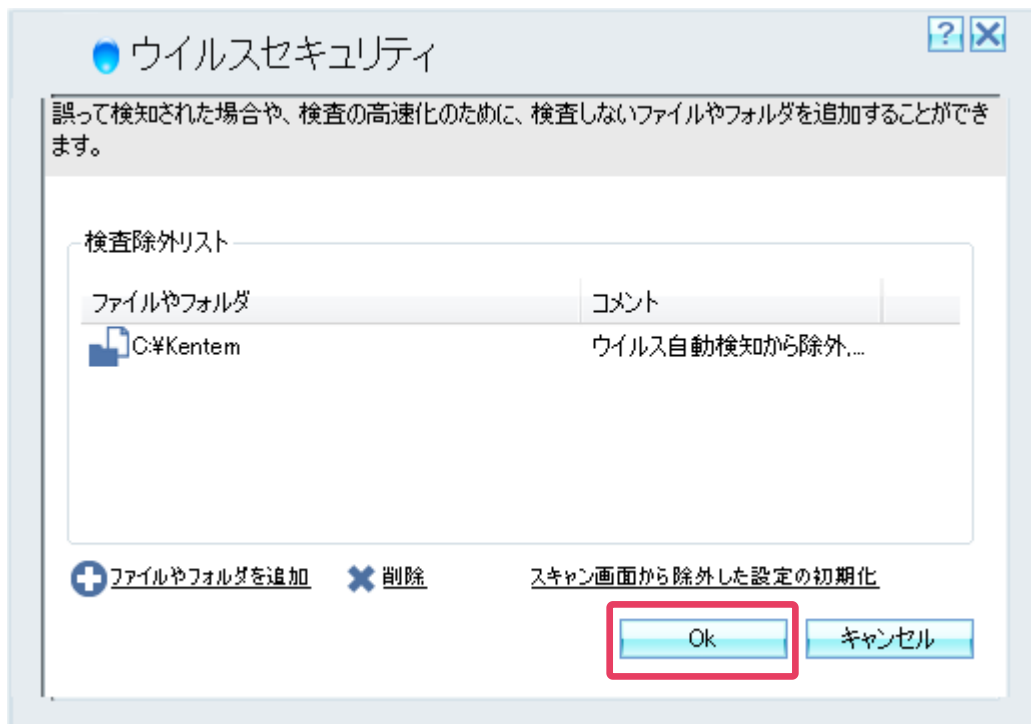
6. デキスパートのインストールフォルダ (初期値は C:\kentem¥フォルダ) を選択し、[OK] をクリックします。



7. [ウイルス自動検知の対象にしない]・[手動検査の対象にしない]・[サブフォルダを含む] にチェックをつけ、[OK] をクリックします。



8. [OK] をクリックします。



9. [閉じる] をクリックします。



10. 以上でウイルスセキュリティ ZERO における除外設定は完了です。